

WS
5

切迫を読む——2000年代以降の文学から——

※講義の後に討論あり

【定員】 30名 【受講料】 2年・1年会員ともに 9,270円 聴講生 10,810円

【歴史・文学・人間学】文学 ワークショップ 【時間】 毎回 13時00分～15時00分 (計6回)

概要

現代の文学作品は、現代特有の時間を、日常を、社会のありようを突き破ろうとする切迫感に満ちています。新しさゆえに、しばしば読み手としてそれを感得することが難しい、この現代を生きる中での切迫を、受講生の方々と読み解いていきたいと思ひます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
0	4/16(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	ガイダンス	運営世話人
1	4/23(水)		カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』文学の意義(初出2005年 ハヤカワepi文庫)	文学研究者 西岡 宇行
2	5/14(水)		宇佐美りん『推し、燃ゆ』ネットと信仰(初出2020年 河出文庫)	
3	5/28(水)		沼田真佑『影裏』災厄と個人(初出2017年 文春文庫)	
4	6/11(水)		岡田利規「三月の5日間」他 複数の時間 (初出2005年他『わたしたちに許された特別な時間の終わり』新潮文庫)	
5	6/25(水)		マーサ・ナカムラ『狸の匣』民話的想像力(初出2017年 思潮社)	
6	7/9(水)		川野芽生「白昼夢通信」複数のきみ (初出2019年『無垢なる花たちのためのユートピア』創元文庫)	

連絡
事項

ガイダンスに講師は出席しません。